

祭事暦

7月1日・20日 午前8時30分
 月次祭
 7月15日 午後8時30分
 浜降祭古式祭
 7月20日 午後8時
 浜降祭宵宮祭
 7月21日 午前7時
 浜降祭(於南湖浜)
 7月22日 午前11時
 虫送り祭



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

梅雨の晴れ間、雨に洗われた新緑の木々の美しさは清々しく、この季節は雨を喜び、楽しみ、心を洗い清めて心身に元気を与えてくれます。健康を保つのに必要なのは美しく丈夫な歯を維持する事で、歯磨きは重要な手段となります。最近、食後すぐの歯磨きはエナメル質にダメージを受けるので二、三十分してから行うのが良いとも聞いておりますが、毎食後必ず歯磨きをする習慣は、元気な毎日を過ごすことにつながります。この歯磨きは、衛生的には食事を済ませてから磨くのが合理的なのですが、中には起床と共に洗面、歯磨き、更衣をしてから食事をすることも多くあります。

この行為は、私達は古くから食べ物などをはじめ万物のすべては神様から与えられた恵みで、それを食する我々は自然と共に生き、生かされていると言う感謝の気持ちからだと思えます。祖先が神として大切に守ってきた森や山、海や川が自然災害を防ぎ、豊富な食料資源を育んできた事が現代科学で証明されつつあります。科学が未発達な頃から不思議と理に合った安全で豊かな生活をしてきた名残りが、食事前に身支度を整えるという行為を普通にしてきたのだと思えます。神社では古来から安全で豊かな生活を願う様々な祭が行われて来ました。今月二十一日(海の日)には寒川茅ヶ崎鎮座の各神社約四十基の神輿が茅ヶ崎南湖の浜に勢揃いし浜降祭が斎行されます。湘南地方ではこの祭りが終わると本格的な夏を迎えると言い伝えられて来ました。本年は遅い海の日ですので、梅雨も明け晴天の中で斎行され、大勢の観衆の前で盛会裡に執り行われることを願っております。(國廣 弘)

●
 祝祭日には
 国旗を掲げましょう

◎ 暁の祭典

浜降祭

七月二十一日(月)

湘南地方に本格的な夏の到来を告げる 暁の祭典

浜降祭 が七月二十一日に斎行されます。

神奈川県無形民俗文化財に指定されているこの祭典は、海の日(七月第三月曜日)の早朝、祭主 寒川神

社を始め、寒川町・茅ヶ崎市に鎮座する三十四社の神輿三十九基が茅ヶ崎南湖の浜に集結、櫻を行った後に合同祭典を執り行い、国家安泰・五穀豊穡・大漁満足を祈念致します。帰路では寒川駅前公園に町内に鎮座する四社の神輿が集い、東日本復興祈願祭を執行、巫女により神前神楽が奉奏されます。また、各種模擬店も出店、園児達が飾り付けたダンボール神輿も披露され賑わいます。

寒川神社 御神幸時間表

七月二十一日(月) 海の日

午前	二時三〇分	発輿祭
	三時四〇分	引き続き 社頭発輿 一之宮御通過
	四時五〇分	田端(神輿を車輛に奉安)
	五時三〇分	国道一三四号線西浜交差点(昇輿)
	六時〇〇分	南湖浜祭場着御
	七時〇〇分	浜降祭祭典斎行
		祭典終了後 祭場発輿
	八時三〇分	国道一三四号線(神輿を車輛に奉安)
	九時一〇分	田端行在所供饌祭
	九時四五分	一之宮行在所供饌祭
	十時二〇分	寒川駅前公園 東日本復興祈願祭
	十一時四〇分	寒川神社御旅所祭
午後	一時〇〇分	社頭還幸



◎ 浜降祭古式祭

七月十五日(火)

浜降祭は、平成九年「海の日(七月第三月曜日)」に変更される前は、七月十五日に行われておりました。この由緒ある日を後に世に伝える為、古式祭が斎行されます。

◎ 虫送り祭

七月二十二日(火)

農作物に害をもたらす病害虫を追い払い天災にも見舞われること無く、稔り豊かな秋の収穫を迎えられるよう祈る祭事で、各農家に豊作祈願の神札が領かたれます。

暑中お見舞

申し上げます

宗教法人寒川神社

責任役員

入澤 一三 中島 啓介
前田 隆一 松本 学

顧問

藤沢 賢一 伊藤 留治
小林 亮 山田 文夫
飯田 誠 根本 康明
山上 貞夫 藤田 善三
田中 賢三

参事

高橋 春吉 金子 昭
大川 静男 横溝 隆義
市川 元久

総代長

小菅 隆志

副総代長

金子 武

総代

中島 和則 戸田 久夫
吉見 信 石井 直進
岡戸 龍 杉山 誠
佐藤 廣孝 荒川 清一
高黒 勉 福岡 和泰
石黒 靖男 猪原 泰雄
東林 正彦 龜山 泰雄
江川 辰夫





▶ 移植された御神木



す。また、屋根を伝い落ちる雨水に含まれる緑青等による生育への影響を鑑み、南側へ移された養生中だった御神木も無事移植作業が終わり、装いも新たに参拝者をお迎え致します。

庭西側より向拝前にかけて新たにスロープが設置され、車椅子をご利用の方にも賽銭箱の前にて参拝頂けるようになります。

四月一日から工事が進められておりました、内庭の石張り工事も順調に作業が進捗し、六月末にはほぼ完成し、若干の手直しを残すのみとなりました。これにより、正月など参拝の方が大勢おみえになる時期に懸念されていた、段差による危険や砂塵による悪影響も解消された他、内



新設のスロープ



内庭石張り工事完成へ



大注連縄掛け替えられる

六月十一日、御本殿向拝前の大注連縄が三年ぶりに



掛け替えられました。

新しい注連縄は、職工奉仕会の会員である榎金子建材土木の職人達が、金属を一切使用せず、約一ヶ月をかけて丁寧な奉製したもので、長さ十四・五メートル



全総代会開催

寒川神社を始め町内の兼務神社の総代により組織される「全総代会」が六月一日に開催されました。

当日は、中島啓介責任役員が議長に選任され、任期満了に伴う責任役員の交代の経過や就任、社務・本年度補正予算、次年度歳入歳出予算等について詳細な報告がされました。



重さは一トン程あります。当日は注連縄をお被いした後、三十人程の出入り一日をかけて掛け替えられました。



第四十五回 相模新能のご案内

と き 平成二十六年八月十五日(金)
午後五時開場 午後五時三十分開演

ところ 寒川神社境内特設能舞台
小雨決行につき雨具をご準備下さい。

番 組 能 江野島 中森 貫太ほか
狂言 口真似 野村 萬斎ほか
能 鞍馬天狗 観世 喜正ほか

申込方法 往復葉書に住所・氏名・年齢・電話番号を楷書
で明記のうえ下記要項によりお申し込み下さい

申込先 〒253・0195 神奈川県高座郡寒川町宮山三九一六
寒川神社 相模新能係

お問合せ 電話 〇四六七・七五・〇〇〇四 相模新能係
電話での申し込みは出来ません。



▶能「江野島」



◀能「鞍馬天狗」

《往信》

表	253-0195 神奈川県高座郡寒川町 寒川神社 宮山三九一六 相模新能係
裏	住所 氏名 年齢 年齢 年齢

《返信》

表	郵便番号 〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇〇〇〇〇様 (ご自身の住所氏名)
裏	裏面は記入なしで お申し込み下さい。

お一人様一枚限り(中学生以上)
鑑賞券の転売は固く禁止
致します



▶狂言「口真似」
^撮影 政川慎治 v

浪速神楽講習会開催



浪速神楽講師、津守神社
宮司今江隆道先生をお招き
し、六月十七日より十九日
にかけて、神職・巫女を対
象に講習会を開催致しまし
た。

この神楽は寒川神社の各
祭典や団体参拝の折に、御
神慮をお慰めするよう御神
前で奉奏しております。
先生には三日間に亘り
舞と楽を基礎から懇切丁寧
にご指導頂きました。

宮山神輿愛好会 御田植祭執行

六月十五日、宮山神輿愛
好会の御田植祭が会員多数
参列のもとで執り行われ豊
作が祈念されました。

今年ハエルニニヨ現象
の影響で、夏の天候不順が
心配されておりますが、会
員相互により丹精込めて育
て上げ、無事寒川神社と伊
勢の神宮に奉納出来るよう
誓い合いました。



◆ 青少年活動だより

BS 寒川 第二団 GS 神奈川県第四十五団

—— 発団記念奉告祭 斎行 ——

六月八日、ボーイスカウト寒川第二団の発団四十一周年、ガールスカウト神奈川県第四十五団の発団三十七周年を御神前に奉



告し、両団の更なる発展と活動への安全を祈念する発団記念奉告祭が育成会長 団委員、リーダー スカウト等参列のもと、執り行われました。

園児達が飾り付けた

ダンボール神輿を展示します

寒川まつり会

寒川まつり会では、浜降祭の伝統を守る為、世代を超えてお祭りに参加してもらおう事で、興味を持ってもらい、町内挙げて盛り上げて行こうと、今年も町内にある七つの保育園と幼稚園に、ダンボール神輿を配布

し、飾り付けをしてもらいました。園児達が思い思いに描き華やかに飾り付けた、このことも神輿は、七月六日より二十六日まで内庭に展示され、訪れた参拝者の目を楽しませてくれます。



BS 田植えを実施

梅雨の晴れ間となり、真夏のような青空が広がった六月十五日、恒例の田植えが神社近くの神饌田に於いて実施されました。神職により神饌田が被い清められ、四隅に御幣が立て



られ本年の豊作が祈念され田植えが始まりました。スカウト達はぬかるんだ田に入ると横一列に並び一歩一歩慎重に苗を植えておりました。

神嶽山神苑

御案内



八氣の泉

御本殿の奥には、池泉回遊式の日本庭園が広がり、茶屋や資料館が併設しております。ぜひご来苑いただき和やかなひと時をお過ごし下さい。

※尚、入苑はご祈禱をお受けになられた方に限ります。

今月の木札

◀ 文月



月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

短冊に願い事を書く風習は日本独自の文化で江戸中期頃より盛んになった。古今の書物を紐解くと、「決意を表明すると願いが叶い易くなる」と多くに記してある。目標を掲げ神に結願を祈ろう。

内視鏡の進歩

宗教法人 寒川神社 寒川病院

医師長 木勢 佳史



私が医師になったころと比べて医学もどんどん進歩してきました。以前は食道や胃の早期診断とまではやされた上部消化管造影もだんだん上部消化管内視鏡にとって代わられるようになってきました。

上部消化管内視鏡、いわゆる胃カメラは、ヨーロッパで大道芸人が広場で長い刀を飲んでいたのをヒントに開発されました。

最初は硬性鏡と言って真直ぐの太い棒状のものでその先にカメラをつけていて、写真は何枚も撮って現像し、そこから判断するという、今では考えられないような物でした。棒の先を胃に入れるだけでも一苦労なのに、写真を撮るための光を真っ暗な胃まで、どう入れるか苦労があったようです。そのうち軟性鏡といって、自由自在に曲がる胃力

メラとなり、飲むのがかなり容易になったものの、まだ太く、曲がる角度にも限界があり、操作が大変でした。

最近さらさら細い胃カメラとなり、世界に誇る日本の画像技術開発により、画像も非常に細くなり、それまではなかなか判断しにくかった早期癌も発見しやすくなりました。一言で胃カメラといいますが、いわゆる上部消化管内視鏡では食道、胃、十二指腸を観察したり、治療したりします

胃は、強酸の胃液とタンパク分解酵素を分泌し、食物の消化において非常に大切な第一歩の仕事をしているので、胃の病気を早く発見し治療することはきわめて重要です。しかし、口から胃までの通り道である食道も、それがなければ、胃液が少量でも逆流した時

直ぐに口から気管へ逆流し肺炎を起こしてしまつことになり、また粘液で食物を包み込んで食物の過剰な熱分を吸収し、逆立ちしていても、胃へ着実に食物を送るといふ機能をしており、非常に大切な臓器です。

十二指腸も消化酵素、胆汁によって食物を消化するのに大切な部分です。上部消化管内視鏡では、食道、胃、十二指腸の粘膜の色彩細かいヒタの観察を行いそれにより早期で見つかった癌であれば、一部の例外を除いて、内視鏡で取れる場合も多くなりました。

戦前ずっと欧米から教わってきた医学会は、特に内視鏡の分野では国際学会においてでさえ、欧米の医師より「以前は医学の知識は西洋から東洋へ、だったが最近の内視鏡医学の知識は東洋、特に日本から西洋へ」といふ時代になった」と言わしめるように発展しました。中年層以降の毎年一回の上部内視鏡検査は、大変有意義なことと思われま



人事

責任役員・顧問・参与就任のご報告

任期満了に伴う役員改選により、七月一日付をもって新たに元菅谷神社責任役員、前田隆一氏と浜降祭御旅所神主（第十代鈴木孫七）松本学氏の二名が責任役員にまた顧問として、前茅ヶ崎商工会議所会頭、田中賢三氏が、これまで責任役員をお勤め頂いた、横溝隆義・市川元久両氏が参与に、それぞれ就任されました。

昇進

▲神 社▽
出 仕 三浦 彩夏
主典を命ずる 谷澤紗也佳

転出

▲神 社▽
権禰亘 藤岡 義久
本社本庁へ転出を命ずる
平成二十六年六月三十日 神 社 本 庁

新採用

▲神 社▽
山本 沙紀
録事を命ずる
平成二十六年七月一日
▲寒川病院▽

医師

城倉 雅次
永田 由貴
大木 優香
寒川病院勤務を命ずる
平成二十六年七月一日

看護師

大木 優香
寒川病院勤務を命ずる
平成二十六年七月一日

退職

▲神 社▽
看護師 吉澤美恵子
介護福祉士 赤池 真樹
神恵苑勤務を命ずる
平成二十六年七月一日

巫女

▲神 社▽
巫女 碓 美佳
増島 美和
上野 智尋
岩澤 真由
原 四郎

録事

願いに依り職を免ずる
平成二十六年六月三十日
▲寒川病院▽
看護師 田畑 千佳
松本 留美
辻 洋子
中西 千夏

願いに依り職を免ずる

願いに依り職を免ずる
平成二十六年六月三十日
▲神恵苑▽
介護福祉士 鈴木加奈美
願いに依り職を免ずる
平成二十六年六月三十日

冬川佛壇



燕の子頭上注意の道の駅
 顔よりも大きき口開け燕の子
 講談師佳境で脱ぐや夏羽織
 言訳を日傘の中にたたみけり
 子燕に出入せはしき無人駅
 黒塀に銀の帯引く蝸牛
 雲の上に更に雲あり夕焼くる
 燕の子見上げる子等に加はりぬ
 一匹のためにつけたる蚊遣香
 明早し框に置きし旅かばん
 おこされし畝をまつすぐ蛇のゆく
 田植え終え浸す農婦の脛白し
 短夜や夢かうつつか雨激し
 指切つて指なめてある青芒
 風入れる母の形見の単帯
 暮敵の来ると言つ日の初鯉
 はやばやと玄閑に待つ蝸牛
 梅全部腕いだつもりが落ちてくる
 青時雨極楽寺坂ゆるやかに
 瞰下るせば色とりどりの日傘ゆく

原野 楽天
 芹澤 徳光
 根岸 君子
 金指 月光
 飛石 槿花
 倉谷 節子
 宮入 つる
 岩田美代子
 菅沼 保幸
 菅沼うめの
 山本 朝子
 伊藤 公一
 竹村真砂美
 金子 つち
 浦野 房子
 松村 信篤
 露木てる子
 皆川志んこ
 松本美智子
 四ツ車梢月

七月 手水舎奉掲

昭憲皇太后御歌

日にみたび身をかへりみし古の
 人のこころにならひてしかな

相模詠草

雪背負い世界遺産の富士の山五月の空にひかりて見える
 青天の青葉の中より舞い出でて紋白蝶の飛び交いており
 藍色に空と海とがとけ合へる基地負はされし神さぶる島
 石楠花と椿に蔓をからませてクレマチス咲く五月の空へ
 五月晴れ武甲山背に芝桜花の波うち彼方へ続く
 黄緑の淡きが香る楠若葉み社の社をあかるく包む
 雨あがり動きのおそいなめくじの必死で渡る畔這うをみる
 陽光をあび燦さんと煌めける日溜りの木々若葉がにおう
 たららの芽の天ぶら美味し新緑をエネルギー注ぐ吾が腹の中
 老木の桜見事に咲き盛る花散らしの雨今しばし待て
 両側は桜並木の目黒川水面をゆるく花いかだいく
 友よりの気遣いこもる竹の子御飯仏に供え我も楽しむ
 野焼きすみし仙石原の黒き大地すすきの芽ぶき待つ風の中
 丸い葉を支えるようにふき若葉みどりの茎はぐんぐん伸びる
 誕生日はわれと同じ日抱き上ぐる曾孫「恵翔」君の重たきいのち
 かやぶきの屋根の風情も古都の春雨にうつむくかいどうの花
 何時までも引きずりおらず元氣にと青葉若葉の吾が心照らす
 大空をわがものとして大櫓一氣に芽ぶく音たて芽ぶく



吉田 幸子
 三留とく子
 堀江 照子
 宮治友美枝
 徳江 道子
 宇田川時子
 土屋トミ子
 浜田 寿子
 山口 幸子
 山根喜美代
 龜山 文子
 安藤 慧
 川島恵美子
 天利 春枝
 平澤まさえ
 稲垣 武子
 岡元 芳子
 杉本 照世

表紙写真説明

三年振りに掛け替えられた
 御本殿の大注連縄

編年録

七夕の笹飾りには、巾着、貯
 蓄、折鶴、長寿、屑籠、清潔

など個々に意味があり、一家
 の安泰が祈念されている。

家族全員で飾り付けるのも家
 庭円満の秘訣かも知れない